

平成29年度松戸市学校教育指導方針



- 基礎学力、活用型学力の育成を目指す指導方法の工夫・改善
- 言語活用科を柱とした小中一貫教育の推進
- 実態分析による学力に関する課題の把握
- 生徒指導の機能を生かした授業の実践
- ICTの効果的な活用
- 学校図書館における「読書・学習・情報センター」機能の充実
- 学びの定着を図る家庭学習の重視

- 基本的生活習慣の確立と規範意識の醸成
- 全ての教育活動を通じた思いやりのある豊かな心の育成
- 「考え、議論する道徳」への転換を図る道徳教育の推進
- いじめに関するアンケートやQ-U調査の分析と活用
- 「豊かな人間関係づくりプログラム」の活用の推進
- いじめ・不登校の「未然防止」「早期発見」「早期対応」「継続支援」

- 体力向上、生涯スポーツにつながる学校体育の充実
- 心身の発達段階に応じた学校保健の推進
- 生命尊重を基本とした学校安全の推進
- 「食に関する指導」の充実

- インクルーシブ教育システムの構築
- 組織的・継続的な支援体制の充実
- 「教育のユニバーサルデザイン」の推進
- 社会的自立を目指した「キャリア教育」の推進
- 互いを尊重し合う「交流及び共同学習」の推進

- ・管理職のリーダーシップによる
　　学校経営ビジョンの明確化
- ・組織マネジメントを生かした自律的学校経営力の向上
- ・学校派遣人材の効果的な活用
- ・学校立案による学校予算の有効活用
- ・実態に即した特色ある教育課程の編成
- ・教職員個々のニーズに合わせた研修
- ・校務の合理化・効率化
- ・小中連携の強化と「チームとしての学校」づくり
- ・学校と地域双方のアプローチによる連携の推進
- ・グローバル教育、キャリア教育の推進
- ・高大連携による魅力ある教育プログラムの充実
- ・教員補習と予備校連携の体系化による
　　大学進学支援体制の充実
- ・確かな学力を育成する教育課程と教育環境の充実
- ・小中高連携を通した教育センター機能の発揮
- ・魅力ある市立高校づくりの研究
- ・部活動の充実

特色ある
学校づくり

創意工夫を生かした
学校経営

市立松戸高校